

# メモリアルコンサート

第10回定期演奏会

かみかわウィンドシンフォニー



日時 2004.2.29 Sun

開場 1:30

開演 2:00

場所 神川町中央公民館

# ♪プログラム♪

## 第一部

ヒズオナー

吹奏楽と打楽器のための「コロニアルコラージュ」

吹奏楽のための犬夜叉

イギリス民謡組曲

Henry Fillmore

James L Hosay

Kaoru Wada

Vaughan Williams

## 第二部

スパニッシュフィーバー

ディズニープリンセスメドレー

ディスコパーティー

慕情

日本民謡メドレー

マイウェイ

恋のカーニバル

Jay Chattaway

arr.Hidehumi Suzuki

arr.Takashi Hoshide

Sammy Fain

arr.Naohiro Iwai

Claude Francois

Moracs Moreira

## ～♪～曲紹介～♪～♩～♯～

**ヒズ・オナー** トロンボーン奏者として有名なヘンリー・フィルモアの作品。底抜けに明るいマーチで聴いている人をワクワクさせてくれるような曲です。金管楽器の美しい旋律にのって木管楽器が軽やかに歌う様子は春の予感・楽しいマーチです。当団のオープニングマーチでもあります。

**コロニアル・コラージュ** ここでいうコロニアルとは植民地時代をさし、コラージュとはさまざまなモチーフの意をもちます。植民地時代のアーリーアメリカンを特徴的に表現した曲です。曲は大きく3つの部分に別れていて、「軍楽隊曲」「田舎の踊り」「神聖な賛美歌」からなります。軍楽隊曲では打楽器が中心となり安定したリズムを奏でています。田舎の踊りではピッコロのソロから始まり、中間部の神聖な賛美歌では美しいメロディーをエンディングに向かって豪華な雰囲気表現しています。

**吹奏楽のための犬夜叉** 2000年より放送中のTVアニメーション「犬夜叉」の劇中音楽をモチーフに、吹奏楽版として新たに作曲されたものです。曲中に使用されているモチーフは、犬夜叉・かごめ・奈落などそれぞれのテーマをオリジナルの雰囲気を活かした作曲とアレンジになっています。

**イギリス民謡組曲** 郷愁あふれるイギリスの民謡を題材にアレンジされた組曲です。何となく懐かしさを感じるサウンドです。吹奏楽では定番中の定番、中学や高校で誰でも演奏した事がある曲と言

ってもいいでしょう。第一楽章 マーチ「日曜日には17歳」…第1 マーチ「日曜日には17歳」第2 マーチ「可愛いキャロライン」…単純な構成の楽章ですがイギリスの歌の数々をただ楽しく、美しく聴かせたいという作曲者の心があふれ出ている楽章でしょう。第二楽章 インテルメッツォ「マイ・ポニー・ボーイ」…哀愁を帯びたメロディをソプラノサクソ、トランペットが奏でます。中間部ピッコロが爽快なソロを聴かせます。全楽章中最も美しく哀しい聴かせどころです。第三楽章 マーチ「サマーセットの民謡」…イギリス南西部のサマーセットの民謡をもとにした楽章「朝露を吹き払え」「高地ドイツ人」「とても高い木」「ジョン・バーリーコーン」 盛りだくさんのイギリスをアレンジした曲になっています。どうぞお楽しみ下さい。

**スパニッシュ・フィーバー** この曲を演奏すると全員がエキサイトしてしまいます。特にドラムにはご機嫌な一曲。また低音を支える Tuba、Bass のメロディーもお聴きください！かなりカッコイイ存在です！（聴衆そっちのけで、演奏してる人間がフィーバーしてしまうある意味恐ろしい曲です…）

**ディズニー・プリンセス・メドレー** 世界中に愛されているディズニーの音楽。耳にするだけであの美しい映画のワンシーンが目の前に広がります。永遠の憧れプリンセス達のパーティーへようこそ♪ 美女と野獣～いつか王子様が～夢はひそかに～いつか夢で～パート・オブ・ユア・ワールド～一人ぼっちの晩餐会～フレンドライク・ミー～アリ王子のお通り～ホール・ニュー・ワールド

**ディスコ・パーティー** ザッツ・ザ・ウェイ～ブギー・ワンダーランド～フライ・ハイ  
フルート・トランペット・サクソのソロ…そしてなんと言ってもドラム！ご機嫌なメドレーになっています。（今さらディスコ…もないような気もしますが…しばし懐かしんでください）

**慕情** 「恋ははかなく、恋はすばらしきもの」言わずと知れた悲恋映画のテーマソング。戦争によって引き離される男女を描いた悲恋物語です。美しいメロディー…恋ははかなく…どうぞ昔を思い出して…（？）聴いて下さい。

**日本民謡メドレー** 日本人なら誰でも馴染める、まさに日本の曲です。ソーラン節～鹿児島小原節～小諸馬子唄～八木節 普段余り耳にしなくなった懐かしい民謡、日本の心をお聴き下さい。

**マイ ウェイ** フランク・シナトラ、1969年の大ヒットソングの題名です。この曲はポールアンカ作と思われているようですが、正確にはフランス生まれ（44年）の歌に、ポール・アンカが英語の詞を書き、アレンジをしたものです。ポール・アンカが尊敬し、同時に友達でもあったフランク・シナトラに曲を頼まれて生まれたのが「マイ・ウェイ」です。フランク・シナトラから引退を聞かされていたため、まず「The end is near...」(終わりは近い)、という一節が頭に浮かび、その後は一気に仕上げたという往年のミリオンヒット…。(名曲中の名曲ですが、なぜかカラオケでは敬遠される曲…??)

**恋のカーニバル** ノリの良いメロディーは自然に心も体も浮かれて楽しくなってきます。ドラムと TUBA のソロが楽しい、いろいろな音が交差してまさにカーニバルのような華やかで楽しい曲です。（踊りたい人…どうぞ舞台にあがってください！（爆）…）

## メンバー紹介

指揮 須賀文王

司会 田島要一

### Flute/Piccolo

吉田ひとみ  
中村 淳子

### Clarinet

中沢由香里  
小池 智宏  
坂本 和人  
近野 恵美

### Saxophone

佐々木義孝  
滝沢 隆行  
岩田 真樹

### Trumpet

中原 堇喜  
須賀 渡  
辺田 文彦  
荻野えり子  
金澤 洋輔  
森林 寛

### Horn

萩原 和憲  
金井 哲彦

### Trombone

倉上 明  
野枝 純一

### Euphonium

沢入 潤

### Tuba

田島 要一

### St.bass/E.bass

小川 倫史

### Percussions

木村 徹  
小竹俊太郎  
鯨井 和也  
柿沼 政幸

### ♪ごあいさつ♪

本日はお忙しい中、私達 かみかわウィンドシンフォニーの演奏会に御来場いただきまして、誠にありがとうございました。本日の演奏はいかがでしたでしょうか？お楽しみいただけましたか…？

回数を重ねて、あっという間に10回という節目の演奏会を迎えられたことに団員一同、改めて喜びを感じております。これも関係者の皆様はじめ、御来場いただきました皆様の暖かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後も地域の皆様に愛される楽団、そして皆様に楽しんでいただける音楽作りを目指して活動を続けてまいりたいと思っています。

今後とも、かみかわウィンドシンフォニーをよろしくご依頼申し上げます。  
ありがとうございました。

かみかわウィンドシンフォニー団員一同